



ロタウイルス感染症

ロタウイルスが原因で起こる感染性胃腸炎です。毎年、冬の後半から春にかけて流行します。生後6ヶ月から2歳の乳幼児に多くみられ、5歳までにほとんどの子どもがかかります。生後3ヶ月を過ぎてからの初感染時に重症化しやすく、命にかかわることもあります。



○ 感染経路

ロタウイルスは感染力が非常に強く、患者の便中のウイルスがなんらかの形で他の人の口に入って感染します。

またロタウイルスは環境に強く、乾いた場所では約10日間生きています。汚染された物の表面(ドアノブ・手すり・タオル・おもちゃなど)を触った手などから口に入り感染します。

○ 症状

- ・潜伏期間は約2日
- ・突然の激しい嘔吐から始まることが多い
- ・1日に何度も下痢する(米のとぎ汁のような白い便)
- ・熱が出ることもある
- ・腹痛・食欲不振
- ・合併症(脱水・けいれん・腎不全・脳炎・脳症など)

○ 治療

・現在、ロタウイルス自体に効く薬はありません。
こまめな水分補給で脱水を防ぎ、飲んでも吐いてしまう場合は早めに病院へ。下痢止めは病気の回復を遅らせることがあるので使用しない。

○ 予防

日頃からの予防は、食事前、トイレの後など、石けんを使ってしっかりと手洗いをする。

ロタワクチンを接種する。(生後6週～6ヶ月)



<ロタウイルス感染症をワクチンで予防しよう>

- ・ ワクチンは、ロタウイルスの病原性を弱めて作られた経口生ワクチンです。甘いシロップ状で赤ちゃんにのませて接種します
- ・ ワクチンを2回接種すると重症のロタウイルス胃腸炎の発症をほとんど抑えられます。または発症しても症状が軽くなることが確かめられています。
- ・ 世界120か国以上ですでに接種されており、日本でも昨年11月にやっと接種できるようになりました。

【接種時期】生後6週～24週(6ヶ月)に2回接種

【費用】1回につき14,000円

☆ 接種時期が6ヶ月までで、生ワクチンの為(接種後4週間あける)、他の予防注射との同時接種をお勧めしています。
できるだけ小さい月齢で受けていただくことが望ましいので、スケジュールなど詳しくはスタッフにお尋ね下さい。

脱水?

尿の量が減る・唇が乾いている・手のひらがかさかさ・顔色悪くぐったり・皮膚に張りがない…



○ 二次感染を防ぐために

- ・患者の便や吐物には大量のウイルスが含まれている。
胃腸炎の症状がおさまった後も、約1週間は便の中にウイルスがでている
- ・殺菌には熱湯か、0.05 から 0.1%の次亜塩素酸ナトリウム(市販の塩素系漂白剤)を使用。アルコールや逆性石けんにはあまり殺菌効果はありません
- ・調理器具、おもちゃ、衣類、タオル等は熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱が有効
- ・汚物の処理
 - ・患者の便、吐物の処理は使い捨ての手袋、マスクを使用
 - ・患者の便、吐物はペーパータオル等で取り除きビニール袋に入れる
 - ・残った便や吐物の上にペーパータオルをかぶせ、その上から50～100倍に薄めた市販の塩素系漂白剤を十分に浸るように注ぎ、広げないようにペーパータオルでよく拭く
 - ・ウイルスは乾燥すると空气中に漂い、これが口に入って感染することもあるので、便や吐物を乾燥させない(ビニール袋に入れる)